

ウダヤナ大学への協定留学 月例報告書 (2022年8月分)

留学先大学：ウダヤナ大学人文学部日本文学学科

氏名：森下千裕

インドネシア・バリ島について

インドネシアは東南アジアに位置し、日本の約5倍の面積を有する島嶼国です。人口は約2.70億人とされ、そのうちの9割近くがイスラム教を信仰しています。一方で今回私が留学するバリ島では、島民の約9割がバリ・ヒンドゥー教を信仰しており、国内の他の地域とは異なる習慣もよく見られます。

諸手続きについて

今回の協定校留学にあたり、入国から一年間有効な学生ビザを取得しました。このビザはE-Visaとよばれる電子ビザで、申請はオンラインから行うことができます。無事に電子ビザが発行されると晴れてインドネシアに渡航することができますが、入国後30日以内に現地入国管理局に出頭しITAS（滞在許可）の手続きをする必要があります。私はバリ到着翌日にウダヤナ大学国際事務局を訪れ、入国管理局に提出する書類の確認や今後の流れについての説明を受けたりしました。入国管理局には計3回訪れ、書類（大学からのスポンサーレターや所在地証明等）とパスポートの提出や簡単なインタビュー等を行います。このITAS申請から発給までは一週間ほどで、非常にスムーズでした。

大学の授業は9月から始まりますが、8月中に履修科目を選ぶことができました。所属の日本文学学科では日本に関する授業（日本語文法や会話、文化など）をはじめ、インドネシア特有の国是の授業や、宗教の授業も一般教養として組み込まれていました。

生活面について

下宿先は大学から徒歩圏内のコス（簡単なアパートのような物件）を選び、一人暮らしをしています。食事は一食100~200円程度で済ませることができるため、自炊よりもテイクアウトや外食が多いです。また日本でいうウーバーイーツのようなサービスが非常に盛んであるため、食事に困ることは殆どありません。

その他の活動

私は5年前にバリ島内の芸術大学の舞踊学科に留学していたことから、今でも継続して同じ先生から舞踊のお稽古を受けています。舞踊はバリ・ヒンドゥー教を軸としたバリの日常に欠かすことができません。こうした舞踊が踊られ続ける背景を知るためにも、舞踊の先生にお世話になりながらバリの人々の日常を体験しています。



バリ独自の暦に基づいて、
さまざまな寺院でお祈り
をします。

日常的なお祈りや特別な
お祈りまで、すべてにたく
さんの供物が不可欠
です。

← 寺院にて

✓ ↓ 必要な供物の一部



おわりに

今月はビザや大学の事務手続きも多く、新生活に慣れるための期間でした。今後も引き続き事故や体調管理に気を付けながら、大学での授業と課外活動である舞踊のお稽古の両立を図りたいと思います。

インドネシア語で行われる座学の授業に緊張していますが、また協定校の様子をご報告できたらと思います。